

安全の目標

【安全教育の目標】

毎日の生活での安全

- 安全な生活習慣や態度を身につける
- 自分やまわりの人の命を大切に

安全安心な社会づくりへの参加

安全への心がまえ

行動する力

【小学校で身につけること】

- ①安全のためのきまり・約束を守る
- ②身の回りの危険に気づく
- ③危険について、先生やお家の人に知らせる
- ④助けてくれる大人の言うことをきく

課題

対応・準備と心得

【防犯】

あぶない目にあわな

○「声かけ」事案の発生状況

- 「いつもの道だから……」と……油断から発生
- 一人でいるときに発生することが多い
- 「声かけ」をうける時間は……
  - ①午後4時台
  - ②午後3時台
  - ③午後5時台
- 《午後の発生が多い》
- 被害を受ける半数は小学生
 

平成24年	被害全体	2,714人
	うち小学生	1,435人

【通学における対策】

○安全に登下校するためには……

- 《ケンケンなばしよはどこか知っておく》
- 方一のときに「助けてくれるお家」などを調べておく。
  - 子ども110番の家やお店、公共のしせつなど
- 学校からの帰り道で、人の通りがすくなくおりのない道はなるべく通らない。
- ひとりで帰らない。友だちといっしょに帰るようにする。
- 防犯ブザーを持ち、いつでも使えるようにする。

○不審な人に声をかけられたら……

《“逃げる”“知らせる”》

- はつきりことわり、そのばしよからにげる。
- 大きな声を出してまわりに自分のケンケンをしらせる。
- けいさつや学校へ被害をしらせる。(大人に話す)
- 防犯ブザーを持ち、いつでも使えるようにする。

○危ない目にあわな

- 「いか」… 知らない人についていけない
- 「の」…… 知らない人の車にのらない
- 「お」…… たすけて！とおおきな声をしらせる
- 「す」…… 連れて行かれそうなきときはすぐしげる
- 「し」…… 近くの大人に何があつたかしらせる

【交通安全】

交通事故に気をつけよう！

○交通事故は……

- とび出しによる交通事故が多い
  - 一時停止をしな
  - 左右の安全がたりない
- 下校している時や家に帰ってからの事故が多い
  - 歩きや自転車でのとび出し
  - あそびに行くときや帰る時の事故
  - 交通ルールを守らなかつたための交通事故

【交通事故を防ぐために】

- 約束を守る
- まわりの安全をかならず確認
- 交通事故防止5つの行動（心がけ）
  - 「もしかして」…… ケンケン予測
  - 「とまる」…… 一時停止
  - 「みる」…… 安全確認（左右）
  - 「まつ」…… 安全確保
  - 「たしかめる」…… もう一度確認

《交通安全のやくそく》

- 道路を歩くときの約束
  - 歩道を歩きましょう
  - 歩道のない道路では右側を歩きましょう
  - 道路に出るときは、一度止まって左右を確認
  - 道路をわたるときは、左右をたしかめて、クルマが来ないことを確認
  - 信号が「赤」や「青の点滅」ではわたらない

- 青信号でも左右の確認
- 道路標識をかならずまもる

○自転車に乗るときの約束

- 学校やお家のひととの約束をまもる
- ヘルメットをかぶりましよう
- 交差点では止まって左右を確かめる

【災害】

自分の命は自分で守る

○災害はいつおこるかかわらない

- じぶんの命をまもる方法を身につける。
- やくそくを守り、助けてくれる人の言うことをきく。

○「ケンケン・あぶない」と災害を知ることができる

- まわりのようすからケンケンを予測する力
- ケンケンをさけて命をまもる行動ができる力

【“自分の命は自分で守る”を心がける】

○地震がおこったら

- 頭を守る ・ 建物の中にいる場合慌てて飛び出さない ・ 物が「おちてこない」「いどうしてこない」「たおれてこない」場所に避難
- 助けてくれる大人の言うことをきく

○カミナリが聞こえる、黒い雲が近づいてきた

- 頭や首を守る ・ がんじょうな建物の中に避難する ・ 部屋の中に入ら、壁・窓から離れ、中央による
- 電柱や樹木も倒壊の危険あり、近づかない

○ハザードマップ（地域安全マップ）の作成と活用

- 学校やお家のまわりの様子を知る。 ・ 地域にかくれているケンケンを知る。